

プロとして
持ちたい!

マイスケーラーの ベストチョイス

小原啓子 *Keiko OBARA*
㈱デンタルタイアップ 歯科衛生士

畠山知子 *Tomoko HATAKEYAMA*
㈱デンタルタイアップ 歯科衛生士

大切にしよう! マイスケーラーセット

現在、多くの歯科医院で歯科衛生士が患者担当制となって、責任ある歯周基本治療を行う時代となりました。しかし、処置後の経過を見ると、「どうして治りにくいのだろうか?」と悩むことがあるでしょう。超音波スケーラーやエアースケーラーだけでは、どうしても歯石を完全に取りきることはできません。やはり、ハンドスケーラーを使いこなし歯周基本治療のスキルアップを図りたいですね。



自分専用のスケーラーでないと……

歯科医院全体でスケーラーを共有していることもありますが、その場合には次のようなトラブルが起こりがちです。

1. スケーラー管理の問題

スケーラー1本ではSRP(スケーリング・ルートプレーニング)ができる部位に限られるので、処置する部位に合わせて番手を選択しますが、マイスケーラーがない状態で器材の管理は行えるでしょうか?

2. シャーピングの問題

シャーピングができていないと質の高い処置はできません。歯科医院全体で共有のスケーラーだと、刃先が細くなったり、折れたり、切れ味が鈍っていても気がつきにくく、誰が責任をもっていてもわかりません。切れ味の悪いスケーラー

では歯石の探知ができず、時間もかかり、圧がかかりすぎることもあって、歯にダメージを与えがちです。

3. テクニック向上の問題

スケーラーが管理されていない状態では、「ハンドスケーラーは面倒くさい。超音波スケーラーでも十分じゃない」と思ってしまうこともあるでしょう。質の高い医療を提供するためには、いろいろな器材を使いこなす必要があります。その意欲があつてこそ技術向上です。



マイスケーラーを持つと ココが違う!

自分自身でスケーラーを管理できるとどのようなメリットがあるのか、考えてみましょう。

1. プロ意識が湧く

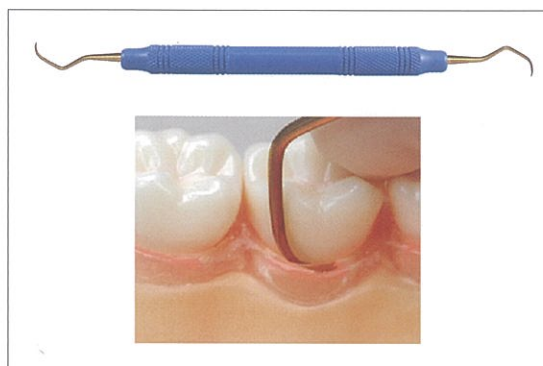
自分で管理したスケーラーを使うと、納得できる処置を効率よく行えます。患者さんの口腔内がみるみる変化していくのがわかるでしょう。術者としての関心が高まり、専門の本や雑誌を読んだり、研修会に行くなどの意欲が湧きます。

2. 適切な処置が行えるようになる

「この患者さんを治すためにはどうしたらよいのだろう」と、X線写真や口腔内写真、診査結果を見てスケーラーを選択するようになるでしょう。プロ意識をもつことで、よい器材を選ぶ目が養われていきます。「先生、このスケーラーで処置を



図① アメリカンイーグル グレーシアクセス GA00-0XP (ジーシー)



図② アメリカンイーグル シックルスケーラー M23XP (ジーシー)

行わせてください」とお願いするあなたを見て、院長は心強く思うはずです。

3. 責任をもって行動できる

マイスケーラーを持つことで、いつでも万全の状態でご管理できます。自分だけが使うと思えば、よりいっそう取り扱いが丁寧になります。



私がアメリカンイーグルを選ぶ理由

アメリカンイーグル (AE:ジーシー) の最も優れている点は、金属の硬さです。ステンレススチールは最初のルートプレーニングの段階でしっかりと歯面に密着し、切れ味を落とすことなく、1人の患者さんの処置を終えることができます。1度使ってみると、その特徴を実感できます。当然、シャープニングに使う時間も短縮できます。シャープニングは、テクニックやその所要時間の問題で難しいと感じる方もいますが、毎回使用後に行っていれば、数秒の世界です。

近年では、シャープニングフリー (シャープニングが不要なタイプ) のXPシリーズも発売されています。こちらは刃部の薄さも特徴で、SPTなどのメンテナンスに向いています。このような柔軟な使い方ができるのは、アメリカンイーグルならではのものです。今回は、+αで持っておくと便利な番手をご紹介します。

1. AE グレーシアクセス GA00-0XP (図1)

ブレードと第1シャンクが改良されており、いまままで難しいとされていた歯列不正がある前歯部歯根面や垂直性の歯周ポケット、刃部が届きにくいとされていた狭窄部位に威力を発揮します。第1シャンクが長く、刃部が短く設計されているので、刃先の感覚がつかみやすく、歯面に密着し、深い歯周ポケットにも対応できるようになっています。

2. AE シックルスケーラー M23XP (図2)

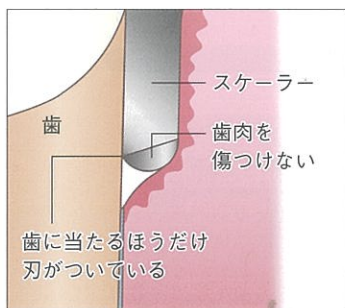
全顎に使用可能な鎌形スケーラーです。刃部の幅が薄く設計されており、前歯・臼歯、近心・遠心まで届きます。歯間のスペースが狭いケースや、歯肉縁上歯石、軽度の歯肉縁下歯石の除去には、なんといってもこのM23が便利です。

ハンドスケーラーには、超音波やエアースケーラーのような振動による刺激がないというメリットがあります。手技によって歯に対する側方圧も調整でき、小回りもききますので、「備えあれば憂いなし」です。

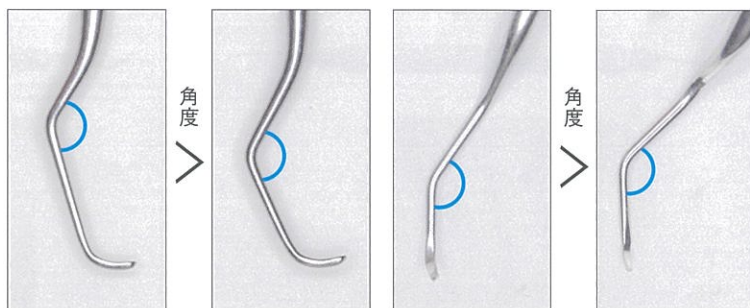


グレーシーキュレットの識別法

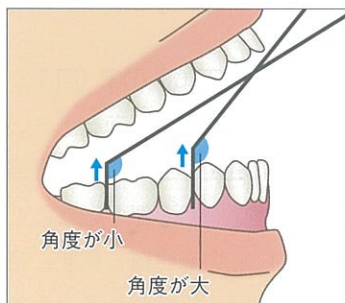
グレーシーキュレットは深い歯周ポケットでも歯肉を傷つけずに治療できます (図3)。しかし、その識別で悩んでいる方も多いのではないでしょ



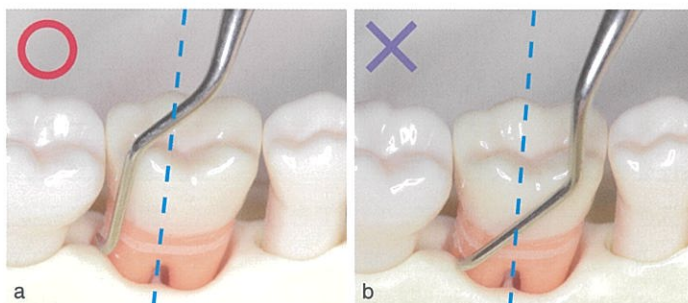
図③ グレーシーキュレットの特徴。歯面に当たる部分にのみ刃がついており、歯肉を傷つけない



a:# 5・6(前歯) b:#7・8(小臼歯) c:#11・12(近心) d:#13・14(遠心)
図④ a～d 各スクレーパーの特徴。スクレーパーの識別は屈曲の単純・複雑さと、第1シャックと第2シャックの角度で決まる



図⑤ 第1シャックと第2シャックの間の角度が大きいものは近心面を含む前方の歯に、小さいものは遠心面を含む後方の歯に用いる



図⑥ a, b 歯軸と第1シャックの角度で確認。a: 歯軸と第1シャックの角度が一致すれば、刃が適正角度で当たっている。b: 歯軸と第1シャックの角度が一致しない場合は適正角度で当たらない

うか。実は、次の3つのポイントを押さえれば、番号を見なくてもどの部位に使用するものか一瞬で見分けられます。

■ Point 1 スクレーパーの把柄部から刃先までの曲がり方は単純？ 複雑？

単純なものは単屈曲で、おもに前歯や小臼歯に用います(図4a, b)。一方、複雑なものは複屈曲で、おもに大白歯の近遠心隣接面に用います(図4c, d)。

■ Point 2 第1シャックと第2シャックの間の角度は大きい？ 小さい？

基本的な考えとして、スクレーパーは口腔外で持ち、第1シャックを歯軸と平行にして、歯石を取るために刃部を引き上げます。したがって、第1シャックと第2シャックの間の角度は異なります。

角度が大きいものは前歯や小臼歯に、小さいものは基本的に大白歯に使用します(図5)。

■ Point 3 基本的に歯軸と第1シャックの角度は一致する

スクレーパーを隣接面に当てた際、歯軸と第1シャックの角度が一致すれば、刃が歯面に適正角度で当たっています。たとえば# 5・6の場合は、把柄部と第1シャックの角度が一致します(図6)。

アメリカンイグルでは、把柄部の色が番手によって異なるので、瞬時に識別できます。

🌞 日々の練習で
ルートプレーニングはうまくなる

ルートプレーニングの練習は基本的に“下顎前歯部”で行います。ここでうまく使えるようになれば、全顎スムーズに行えます。

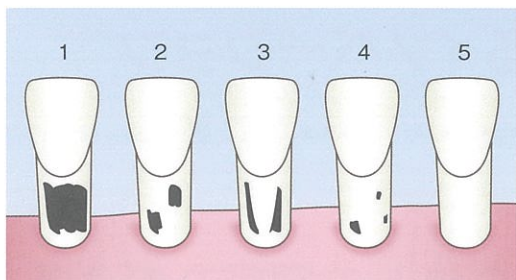


図7 ルートプレーニングの練習。模型の歯面にマジックで印をつけ、歯面を傷つけないように軽い圧で取り除く。残り具合を見て1～5点で採点する

1. 練習方法

模型の歯面にマジックで印をつけ、歯面を傷つけないように軽い圧で取り除きます。残り具合を見て1～5点で採点します(図7)。

2. いつやるの?

新人時代は診療中に基本を教えてもらうこともあります。しかし、練習の時間は自分で確保するしかありません。朝少し早く来る、昼休みやキャンセルの時間を利用する、終業後に少し残る、家で行うなど、練習できるタイミングを探してみましょう。やればやるほど上達します。

3. どこでやるの?

スタッフルームで練習すれば、みんながいるので応援してくれます。消毒ルームでは、隙間時間に練習できます。時には診療室でしっかり練習することも必要です。

4. 用意するものは?

マネキン、顎模型、マジック、記録用紙、ドライパー、スケーラー、シャープニングスティック、砥石など、学生時代に使っていたもので十分です。勤務先の歯科医院で用意していただける場合は、積極的に使しましょう。

5. どれぐらいの時間行うの?

前歯は2分、小白歯は3分、大白歯は4分、根分岐部病変がある大白歯は5分を行います。

表1 SRPのテクニック(参考文献¹⁾より引用改変)

<ul style="list-style-type: none"> • 脱力が肝心。指の力だけではなく、テコの応用で腕の筋肉や手首の関節の重みを利用して動かす
<ul style="list-style-type: none"> • 歯に圧力をかける必要はない(シャープニングできていれば歯石は取れる)
<ul style="list-style-type: none"> • ゆっくりと、始点から終点まで動かす
<ul style="list-style-type: none"> • 面によってスケーラーの種類や持ち方、動かし方を変える
<ul style="list-style-type: none"> • 左手を視点補助と誘導補助に使うと、ここぞと思う部分に圧力がかけられる

練習は継続することが大切です。5点満点がとれるまで、記録を残して上達を実感しましょう。また、練習後は必ずシャープニングを行います。これできていないと上達しません。

SRPのテクニックを表1にまとめます。練習の際も心がけてみましょう。

☀️ 歯科衛生士が担うべき責任

近年、歯周病に対する認識は大きく変化し、歯周病と全身疾患とのつながりが注目を集めています。日本歯周病学会では平成29年に「歯周病撲滅宣言」を出し、治療法も日々進化しています。歯科衛生士は、医療保険の適用となるSPTでの成果が、よりいっそう問われることでしょう。

その前段階にあるのが、歯周基本治療です。SRPは歯科衛生士に託されている重要な処置の1つです。プロ意識をもってよい器具を選択し、使い方を習得することは、国民に対して私たちが担うべき責任です。

【参考文献】

- 1) 小原啓子, 島山知子: これぞカンベキ 歯科衛生士の歯周治療の本 2018-19. 医歯薬出版, 東京, 2018.
- 2) 特定非営利活動法人日本歯周病学会(編): 歯周治療の指針2015. 医歯薬出版, 東京, 2016.

(本コーナーは今月号で終了いたします)